

日興エドモン・ドウ・ ロスチャイルド・ ラグジュアリーファンド 【運用報告書(全体版)】

(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

第 **6** 期
決算日 2019年6月26日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年6月27日から2023年6月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド 欧州のラグジュアリー株式 マネー・オープン・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ■運用は、ラグジュアリー株式への投資に強みを持つエドモン・ドウ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント（フランス）が行います。 ■外貨建資産に対しては、原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回（原則として毎年6月26日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
(旧:三井住友アセットマネジメント)
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間:午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■ 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 率 %	投 資 信 託 入 率 %	純 資 産 額 百万円
		税 分 配 込 金	騰 落 率	中 率			
2 期 (2015年 6 月26日)	円 12,169	円 200	% 9.8	% 0.3	% 96.2	10,492	
3 期 (2016年 6 月27日)	7,994	0	△34.3	0.5	94.9	3,833	
4 期 (2017年 6 月26日)	11,882	200	51.1	0.8	97.4	3,290	
5 期 (2018年 6 月26日)	13,638	200	16.5	0.4	94.8	5,757	
6 期 (2019年 6 月26日)	12,807	200	△ 4.6	0.6	97.8	3,556	

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 率 %	投 資 信 託 入 率 %
		騰 落 率	率		
(期 首) 2018年 6 月26日	円 13,638	% —	% 0.4	% 94.8	
6 月末	13,452	△ 1.4	0.4	97.5	
7 月末	13,818	1.3	0.4	97.3	
8 月末	14,032	2.9	0.4	97.6	
9 月末	13,765	0.9	0.4	97.8	
10 月末	12,441	△ 8.8	0.4	97.8	
11 月末	12,435	△ 8.8	0.4	98.0	
12 月末	11,565	△15.2	0.5	97.9	
2019年 1 月末	12,095	△11.3	0.5	97.1	
2 月末	12,882	△ 5.5	0.3	96.7	
3 月末	12,818	△ 6.0	0.5	98.6	
4 月末	13,408	△ 1.7	0.5	97.7	
5 月末	12,569	△ 7.8	0.6	98.5	
(期 末) 2019年 6 月26日	13,007	△ 4.6	0.6	97.8	

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	13,638円
期末	13,007円 (分配金200円(税引前)込み)
騰落率	-4.6% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として欧州のラグジュアリー株式^{*}に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

※ラグジュアリー株式とは、高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式をいいます。

上昇要因

- 2019年初から4月にかけて、F R B (米連邦準備制度理事会)が利上げに慎重になったこと、中国の良好な経済指標や米中貿易交渉の進展期待から、株式市場が上昇したこと

下落要因

- 期初から2018年末にかけて、中国の景気減速懸念が重しとなり、ラグジュアリー銘柄の株価が軟調に推移したこと
- 5月以降、米中の貿易摩擦懸念の再燃や、ユーロ圏の成長見通しが引き下げられたこと、英国のE U (欧州連合) 離脱の不透明感が増したことで、株式市場が軟調に推移したこと
- 期を通して見ればユーロが対円で軟調に推移したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド	外国株式	97.8%
マネー・オープン・マザーファンド	短期金融資産	0.8%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

当期の欧州株式市場は上昇しました。ラグジュアリー株式はまちまちの推移となりました。ユーロは対円で下落しました。

欧州株式市場

期初は欧州企業の良好な決算内容から上昇しました。8月以降は、中国景気の鈍化が不安視されたことや、米中貿易摩擦の動向への懸念から、変動の激しい展開となりました。10月に中国の景気減速懸念が表面化すると、中国と経済的結びつきの強い欧州に対しても懸念が高まり、欧州株式市場は急落しました。

その後も、イタリアのポピュリズム(大衆迎合主義的)政権とEUの財政規律を巡る対立や、英国のEU離脱問題の先行き不透明感から、年末まで軟調な推移となりました。1月以降は、FRBの利上げに対する警戒感の後退や、英国が合意なき離脱を回避できそうなこと、中国の景気刺激策および良好な経済指標、米中貿易交渉への進展期待から、株価は反発しました。しかし5月以降は、再度米中の貿易摩擦の激化懸念が高まったことや、欧州委員会がユーロ圏の成長見通しを引き下げたこと、EU離脱を巡って英国首相が辞任を表明したことで不透明感が高まり、株価は下落しました。

当期の市場の動きを欧州株式市場の代表

的な指数であるユーロ・ストックス50インデックス(ユーロベース)で見ると、期首に比べて2.23%上昇しました。

ラグジュアリー株式は、中国での売上の割合が高い銘柄や、米国との貿易摩擦の影響を受けやすい銘柄は軟調に推移しましたが、影響を受けにくい銘柄は、引き続き高い成長期待から堅調に推移しました。

為替市場

ユーロは円に対して下落しました。

期初から9月にかけては、米中の貿易摩擦懸念やイタリアの財政不安などからリスク・オフ(リスク回避)になる局面もありましたが、世界的に堅調な株式相場を背景にユーロ高・円安で推移しました。10月になると、株式市場の下落や英国のEU離脱への不透明感から、ユーロが対円で下落し、12月上旬まで方向感なく推移しました。しかし、FRBが市場の想定よりも利上げに強気だと受け止められたことを契機に、年末にかけて急速に世界景気の減速懸念が高まり、投資家のリスク回避姿勢の高まりから円が買われました。1月のFOMC(米連邦公開市場

委員会)は世界的な景気減速懸念などを背景に、ハト派(景気を重視する立場)的なスタンスに転換しました。これを受けた利下げ期待の高まりから株式市場が大きく反発するなど投資家がリスク選好的となったことを背景に、ユーロは対円で上昇しました。しかし5月以降は、欧州委員会がユーロ圏の成長見通しを引き下げたことや、英国首相の辞任表

明で英国のEU離脱の先行き不透明感が高まったこと、イタリアと欧州委員会間の財政規律を巡る対立など、政治リスクの高まりを背景にユーロは対円で下落しました。

当期のユーロ・円は、期首128円23銭から期末121円92銭と6円31銭のユーロ安・円高となりました。

ポートフォリオについて(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

当ファンド

「ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」および「マネー・オープン・マザーファンド」を主要投資対象とし、「ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」の高位組入れを維持しました。

ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド

高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式を中心に組入れを行いました。

個別銘柄

中国におけるラグジュアリー消費の大幅な伸びから、ラグジュアリー銘柄の株価が大

き上昇した前期と比べ、当期は中国の景気減速観測から中国のラグジュアリー消費の伸びに対しても懸念が持たれ、ラグジュアリー銘柄はまちまちの結果となりました。

傘下に著名ブランドを多数持つLVMHモエヘネシー・ルイヴィトンや高級靴ブランドのエルメス・インターナショナルなど、代表的なラグジュアリーブランドがプラスに貢献しました。また、化粧品メーカーのロレアル、酒類メーカーのディアジオやペルノ・リカール、スポーツウェアメーカーのアディダスなどの、一般消費財の銘柄が堅調に推移しました。

一方で、時計や宝飾品などのハードラグジュアリー銘柄は、当期は中国での売上成長が伸び悩み、低価格帯のスウォッチ・グループなどを中心に軟調となりました。また、米中の貿易摩擦および欧州からの自動車輸入に対して米国が関税を課す懸念から、

BMWやダイムラーなどの自動車関連銘柄がマイナスに寄与しました。2019年は前年と比べ、経済成長が減速するとの観測から旅客数の伸びの低下が予想され、アコーやメリア・ホテルズといったホテル銘柄や免税店の銘柄もマイナスの寄与となりました。

マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第6期
当期分配金 (対基準価額比率)	200 (1.538%)
当期の収益	-
当期の収益以外	200
翌期繰越分配対象額	2,806

当期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し200円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」および「マネー・オープン・マザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行う方針です。

期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド

高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式を中心に投資します。ポートフォリオで保有する企業は、今後も魅力的な業績成長を維持することが期待できます。イノベーションや品質、販売ネットワークの選別的な拡大などが業績の拡大を支えると見込まれることに加え、伝統や強いブランドを背景に価格決定力を持っており、世界各地での消費者の購買力の高まりから、安定した収益成長が期待できる銘柄群との考え方に変わりはありません。強固なバランスシートを持ち、株主還元積極的に企業を引き続き選好します。

マネー・オープン・マザーファンド

主として円貨建ての短期公社債および短

3 お知らせ

合併について

三井住友アセットマネジメント株式会社は、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更しました。

約款変更について

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2019年4月1日)

投資対象ファンドの運用会社の変更について

当ファンドの投資対象である「ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」の運用会社が下記の通り変更されました。

なお、当該変更は、エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グループ内の体制見直しに伴い実施するものであり、当該変更による実質的な運用体制の変更はなく、運用の基本方針にも影響はありません。
(変更日：2018年9月21日)

	変更前	変更後
投資顧問会社	<u>エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント</u> (ルクセンブルグ)	<u>エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント</u> (フランス)
投資助言会社	<u>エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント</u> (フランス)	—

■ 1万口当たりの費用明細 (2018年6月27日から2019年6月26日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	152円 (38) (110) (4)	1.177% (0.292) (0.853) (0.032)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.007 (0.006) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	153	1.184	

期中の平均基準価額は12,940円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
 ※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
 ※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
 ※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 ※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「損益及び純資産変動計算書」をご覧ください。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2018年6月27日から2019年6月26日まで)

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国 内	ヨーロピアン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド	口	千円	口	千円
		28,377	434,000	147,837	2,169,000
	合 計	28,377	434,000	147,837	2,169,000

※金額は受渡し代金。
 ※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年6月27日から2019年6月26日まで)

利害関係人との取引状況

日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド

当期中における利害関係人との取引等はありません。

日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド

マネー・オープン・マザーファンド

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
			B A			D C
公社債	百万円 56	百万円 14	% 25.0	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 39.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年6月27日から2019年6月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2019年6月26日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	組入比率
ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド	口 350,818	口 231,358	千円 3,477,544	% 97.8
合 計	350,818	231,358	3,477,544	97.8

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)		期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
マネー・オープン・マザーファンド	千口 29,982	千口 29,982	千円 29,982	千円 29,982

※マネー・オープン・マザーファンドの期末の受益権総口数は75,182千口です。

※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2019年6月26日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 3,477,544	% 95.2
マ ネ ー ・ オ ー プ ン ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	29,982	0.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	145,126	4.0
投 資 信 託 財 産 総 額	3,652,652	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月26日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	3,652,652,124円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	145,125,400
投資信託受益証券(評価額)	3,477,544,713
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	29,982,011
(B) 負 債	95,869,861
未 払 収 益 分 配 金	55,544,952
未 払 解 約 金	14,884,913
未 払 信 託 報 酬	25,299,987
未 払 利 息	385
そ の 他 未 払 費 用	139,624
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,556,782,263
元 本	2,777,247,632
次 期 繰 越 損 益 金	779,534,631
(D) 受 益 権 総 口 数	2,777,247,632口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	12,807円

※当期における期首元本額4,221,666,352円、期中追加設定元本額439,067,406円、期中一部解約元本額1,883,486,126円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2018年6月27日 至2019年6月26日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 59,528円
支 払 利 息	△ 59,528
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△110,288,768
売 買 益	95,018,363
売 買 損	△205,307,131
(C) 信 託 報 酬 等	△ 59,070,605
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△169,418,901
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	333,387,151
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	671,111,333
(配 当 等 相 当 額)	(341,873,924)
(売 買 損 益 相 当 額)	(329,237,409)
(G) 計 (D + E + F)	835,079,583
(H) 収 益 分 配 金	△ 55,544,952
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	779,534,631
追 加 信 託 差 損 益 金	671,111,333
(配 当 等 相 当 額)	(341,875,476)
(売 買 損 益 相 当 額)	(329,235,857)
分 配 準 備 積 立 金	277,842,199
繰 越 損 益 金	△169,418,901

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(501,692,432円)および分配準備積立金(333,387,151円)より分配可能額は835,079,583円(1万口当たり3,006円)となり、うち55,544,952円(1万口当たり200円(税引前))を分配金額としております。

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当 期
	200円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
主要投資対象	欧州のラグジュアリー株式
運用の基本方針	主として、高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
ベンチマーク	ありません。
主な投資制限	・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ・非流動性資産への投資は、純資産総額の15%以下とします。
決算日	原則として毎年6月30日
分配方針	毎年6月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。ただし、分配を行わないことがあります。
運用報酬等	純資産総額に対して年0.6925% ただし、年間最低報酬額との関係で純資産総額によっては上記の料率を上回る場合があります。
管理およびその他の費用	ファンドの設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント（フランス）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益及び純資産変動計算書 (2017年7月1日から2018年6月30日まで)

(表示通貨：日本円)

収益	
受取配当金	61,745,163
収益合計	<u>61,745,163</u>
費用	
投資運用報酬	13,110,518
投資顧問報酬	9,079,137
金融取引税	3,069,076
管理事務代行報酬	2,517,045
保護預り報酬	2,028,575
専門家費用	1,709,967
受託報酬	1,658,090
保管報酬	1,612,099
印刷および広告費	1,229,538
管理報酬	1,210,062
取引費用	865,851
弁護士費用	389,900
銀行金利	205,872
登録費用	10,368
その他費用	426,112
費用合計	<u>39,122,210</u>
投資純利益	<u>22,622,953</u>
実現純利益/(損失)：	
投資有価証券	356,369,978
外国為替	1,646,301
投資純利益および実現利益	<u>380,639,232</u>
未実現利益の純変動：	
投資有価証券	152,257,728
運用の結果による純資産の純増加	<u>532,896,960</u>
資本の変動：	
受益証券設定	2,735,000,000
受益証券一部解約	(795,000,000)
資本の純変動	<u>1,940,000,000</u>
期首純資産額	<u>3,211,748,286</u>
期末純資産額	<u>5,684,645,246</u>

■ 投資明細表 (2018年6月30日現在)

公認の証券取引所あるいは他の規制で運営される市場で譲渡可能な有価証券

種類	通貨	保有数	銘柄	帳簿価額 (単位:円)	時価 (単位:円)	比率* (%)
株式	EUR	37,186	ACCOR SA	185,830,051	201,773,006	3.55
	EUR	4,404	ADIDAS AG	76,290,628	106,174,379	1.87
	EUR	28,306	BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG - BMW	308,659,429	286,397,482	5.04
	EUR	75,608	BREMBO SPA	117,397,253	112,381,993	1.98
	EUR	6,183	BRUNELLO CUCINELLI SPA	17,640,188	29,812,724	0.52
	GBP	37,843	BURBERRY GROUP PLC	98,706,151	118,030,841	2.08
	CHF	24,457	CIE FINANCIERE RICHEMONT- REG	233,950,541	228,348,099	4.02
	EUR	39,713	DAIMLER AG -REG-	347,466,725	285,389,475	5.02
	GBP	63,725	DIAGEO PLC	217,872,636	253,945,189	4.47
	CHF	9,720	DUPRY AG - REG	148,725,303	138,797,273	2.44
	EUR	3,816	HERMES INTERNATIONAL	210,677,535	256,712,638	4.52
	GBP	12,817	INTERCONTINENTAL HOTELS GROUP PLC	70,045,623	87,537,537	1.54
	EUR	4,458	KERING	139,201,513	277,374,693	4.88
	HKD	440,500	L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	98,709,239	80,351,249	1.41
	EUR	8,539	L'OREAL	178,581,570	231,116,132	4.07
	EUR	32,746	LUXOTTICA GROUP SPA	210,936,930	233,933,082	4.12
	EUR	10,949	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	262,763,161	400,101,037	7.04
	EUR	149,592	MELIA HOTELS INTERNATIONAL	219,575,764	225,619,965	3.97
	EUR	39,911	MONCLER SPA	102,447,868	199,880,864	3.52
	CHF	34,302	NESTLE SA REGISTERED	285,915,301	291,603,289	5.13
	EUR	12,658	PERNOD RICARD SA	190,509,813	228,102,130	4.01
	HKD	52,514	PRADA SPA	29,317,342	26,871,639	0.47
	EUR	403	PUMA SE	10,595,695	25,727,394	0.42
	EUR	7,707	REMY COINTREAU SA	92,845,381	112,573,155	1.98
	EUR	62,761	SALVATORE FERRAGAMO SPA	178,969,428	167,447,668	2.95
	EUR	29,047	SMCP SA	79,441,994	89,449,506	1.57
	CHF	4,978	SWATCH GROUP AG/THE -BR-	238,405,744	258,998,854	4.56
	EUR	42,268	TECHNOGYM SPA	33,403,519	54,565,301	0.96
	EUR	13,737	VOLKSWAGEN AG -PREF-	284,154,187	256,112,661	4.51
			株式合計	4,669,036,512	5,265,129,255	92.62
			公認の証券取引所あるいは他の規制で運営される市場で譲渡可能な有価証券合計	4,669,036,512	5,265,129,255	92.62
			投資有価証券合計	4,669,036,512	5,265,129,255	92.62

(*) 百分率で表示された純資産総額に対する時価の比率

マネー・オープン・マザーファンド

第7期 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2012年7月27日)
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債券組入 比 率	純 資 産 総 額
	円	騰 落 率		
3期(2015年3月2日)	10,021	0.1%	98.6%	75
4期(2016年3月1日)	10,025	0.0	83.9	75
5期(2017年3月1日)	10,016	△0.1	69.8	75
6期(2018年3月1日)	10,009	△0.1	72.4	75
7期(2019年3月1日)	10,002	△0.1	72.4	75

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

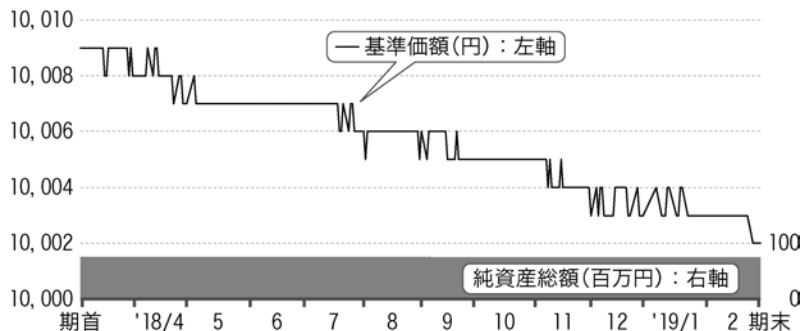
年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率
	円	騰 落 率	
(期 首) 2018年3月1日	10,009	—	72.4%
3月末	10,008	△0.0	72.3
4月末	10,007	△0.0	72.5
5月末	10,007	△0.0	72.4
6月末	10,007	△0.0	72.3
7月末	10,006	△0.0	72.5
8月末	10,006	△0.0	72.4
9月末	10,005	△0.0	72.4
10月末	10,005	△0.0	72.3
11月末	10,003	△0.1	72.4
12月末	10,003	△0.1	72.4
2019年1月末	10,003	△0.1	72.3
2月末	10,002	△0.1	53.6
(期 末) 2019年3月1日	10,002	△0.1	72.4

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

基準価額等の推移



期首	10,009円
期末	10,002円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の変動要因 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当期の短期金利は小幅上昇しましたが、マイナス圏での推移は継続しました。

物価上昇率が目標とする2%まで乖離がある状態が続いたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

日銀は需給動向を勘案しながら短期国債の買入れを調整したことから、国庫短期証券3ヵ月物利回りはマイナス圏でのレンジ推移となりました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.200%に対し、期末には-0.180%へ小幅上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月の円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏で推移しています。

残存0年から1年3ヵ月の公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.009% (0.009)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.009	

期中の平均基準価額は10,005円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特 殊 債 券	千円 54,813	千円 － (54,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2019年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示／国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	54,000 (54,000)	54,480 (54,480)	72.4 (72.4)	— (—)	— (—)	— (—)	72.4 (72.4)
合 計	54,000 (54,000)	54,480 (54,480)	72.4 (72.4)	— (—)	— (—)	— (—)	72.4 (72.4)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示／国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期		末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	第5回 政府保証阪神高速道路債券	1.3	千円 14,000	千円 14,196	2020/3/18
	第8回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.5	12,000	12,042	2019/5/24
	第95回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	14,000	14,143	2019/12/27
	第3回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.5	14,000	14,099	2019/8/16
合 計	計	—	54,000	54,480	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2019年3月1日現在)

項 目	期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 54,480	% 60.9		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	34,916	39.1		
投 資 信 託 財 産 総 額	89,396	100.0		

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	89,396,861円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	34,735,145
公 社 債 (評 価 額)	54,480,980
未 収 利 息	180,736
(B) 負 債	14,197,033
未 払 金	14,196,700
未 払 利 息	28
そ の 他 未 払 費 用	305
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	75,199,828
元 本	75,182,674
次 期 繰 越 損 益 金	17,154
(D) 受 益 権 総 口 数	75,182,674口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,002円

※当期における期首元本額75,202,622円、期中追加設定元本額21,899,061円、期中一部解約元本額21,919,009円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

アジア・ハイイールド債券ファンド毎月分配型(通貨アクティブヘッジコース)	8,100,949円
メキシコ債券ファンド(毎月分配型)	9,994,004円
メキシコ債券ファンド(資産成長型)	4,997,002円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド	29,982,011円
SMB C・日興資産成長ナビゲーション	2,798,587円
アジア・ハイイールド債券ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	29,944円
三井住友・グローバルC B戦略ファンド(為替ヘッジあり)	419,777円
三井住友・グローバルC B戦略ファンド(為替ヘッジなし)	299,837円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(為替ヘッジなし)	1,589,191円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(限定為替ヘッジ)	269,851円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02	619,672円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-05	969,499円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05(為替ヘッジあり)	1,759,104円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05(為替ヘッジなし)	529,719円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09(為替ヘッジあり)	5,797,087円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09(為替ヘッジなし)	409,781円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-09	1,039,466円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12(為替ヘッジあり)	5,027,477円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12(為替ヘッジなし)	549,716円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2018年3月2日 至2019年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	767,137円
受 取 利 息	782,355
支 払 利 息	△ 15,218
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 810,520
売 損	△ 810,520
買 損	△
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,565
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 49,948
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	67,122
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	10,939
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 10,959
(H) 計 (D + E + F + G)	17,154
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	17,154

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

一般社団法人投資信託協会規則の「信用リスク集中回避のための投資制限」に適合するよう、所要の変更を行いました。(適用日:2018年3月23日)